

セミナー開催案内

デジタル画像・消化管&超音波合同セミナー

(デジタル画像専門委員会) (消化管&超音波専門委員会)

本セミナーは、デジタル画像専門委員会と消化管&超音波専門委員会との合同で企画させていただきます (はじめての試みです)。

ここ数年、胃X線画像は、Film-Screen から II-DR や FPD、つまりアナログからデジタルで処理されることが多くなってきました。今までは、撮影した画像は現像するのみであった行為が、最近では、撮影後に画像処理を施してモニターで閲覧する時代が変わったのです。スピード化も図られ、現像に関するトラブルも激減して、画質もそこそこ・・・と一見アナログを凌駕したようにも感じますが、果たしてデジタル化の Merit を活かしているのでしょうか？ 普段出力している胃X線デジタル画像のパラメータはどのように設定されたのでしょうか？ メーカーの推奨でしょうか？。いまさら？という思いは否めませんが、「本当に理解しているのか？ 今一度再確認してみよう」という思いが、私たちを合同企画へと引き寄せた一番の理由です。

当日は、デジタル画像処理の基礎、物理的および視覚的な評価方法を学び、定義が困難ではありますが、理想とする臨床的な胃X線デジタル画像を模索して、各パラメータを理解する重要性を会場の皆様に少しでもお伝えできればと考えております。

両委員会の特色を発揮できるように準備しますので、多数のご参加お待ちしております。

日 時：平成 27 年 4 月 25 日(土) 13:00~14:30

場 所：札幌医科大学 臨床第一講義室 2 階 (第二会場)

テーマ：「胃X線検査におけるデジタル画像のいろは」～画像評価とパラメーター設定～

座 長：鈴木 信昭 (NTT 東日本札幌病院)

：山田 泰司 (JA 北海道厚生連 札幌厚生病院)

演 者：牧野 佑也 (JCHO 札幌北辰病院)

：八十嶋伸敏 (NTT 東日本札幌病院)

：荒井 雅昭 (北海道対がん協会 札幌がん検診センター)

：田内 慎一 (溪仁会 円山クリニック)

CT セミナー

(CT 専門委員会)

CT を撮影するときの管電圧設定、気にしていますか？

「とりあえず 120 kV」にしていますか？

「120 kV」、確かに間違っていない。

ただ、果たして 120 kV がベストチョイスと言えるでしょうか？

それを確かめるために、是非このセミナーに来てください。

より良い撮影条件が見つかるかもしれません。

今回のセミナーでは、管電圧についての基礎的な解説はもちろん、管電圧の設定により CT 画像はどのように変化するのか、また実際にどう設定したらよいかについて解説したいと思います。

日 時：平成 27 年 4 月 25 日(土曜日) 13:00~14:30

場 所：札幌医科大学 臨床教育研究棟 講堂(第一会場)

テーマ：「管電圧」

座 長：小倉 圭史(札幌医科大学附属病院)

浜口 直子(札幌麻生脳神経外科病院)

演 者：佐々木康二(札幌心臓血管クリニック)

茅野 慎吾(札幌白石記念病院病院)

山口 仰(北海道大学病院)

MR セミナー

(MR 専門委員会)

皆さんは MR で実験をしたい・してみたいと思ったことはありますか？

例えば撮像条件を変更した時、「なんか安定してないな～条件に問題あるのかな？」などと思ったことがあると思います。そんな時、気軽に実験ができると客観的に評価が出来て良いですね。

でも…

『実験をしたいけどファントムがないし、自作するにしても何を使えばいいのかわからない！』

『実験してみたけど、思ったような結果がでない！！』など悩んだりしていませんか？

そんな悩みを解決すべく、今回の MR セミナーでは、「実験のすすめ方」について、教科書に書いていない注意点なども含めて簡単に解説していきたいと思います。これから実験しようと思っている方はもちろん、今まさに実験に取り組んでいる方も是非参加して下さい。

日 時：平成 27 年 4 月 26 日(日) 12:00~13:30

場 所：札幌医科大学 臨床教育研究棟 講堂(第一会場)

テーマ：「実験のすすめ方」

座 長：安田 浩司(旭川厚生病院)

中西 光広(札幌医科大学附属病院)

①SNR を計測してみた 演 者：福田 泰之(市立旭川病院)

②空間分解能も気になってきた 演 者：長濱 宏史(札幌医科大学附属病院)

③コントラストまでやってみた 演 者：平井 寛能(斗南病院)

計測防護セミナー

(計測防護専門委員会)

半導体検出器を用いた線量計といえば、古くは職業被ばくの個人モニタリングで使用されるポケット型の電子式個人線量計から始まり、最近では線質情報や線量を時間軸でモニタリングできる高機能な非接続型X線測定器が商品化されています。半導体検出器は、主にGe（ゲルマニウム）、Si（シリコン）、CdTe（テルル化カドミウム）系の3種類があります。Geはエネルギースペクトルが測定できる素子として、歴史があります。Siは簡便に線量を測定できる素子として知られており、CdTe系はGeとは違い常温でもエネルギースペクトルを測定できる素子として利用法が研究されています。

本セミナーでは、SiとCdTe系半導体検出器の現状や実用例を、4名の講師の方々から紹介して頂きます。

日 時：平成27年4月26日(日曜日) 12:00~13:30

場 所：札幌医科大学 臨床第一講義室 2階 (第二会場)

テーマ：「半導体検出器の今」

座 長：森 泰成 (JCHO 北海道病院)

①シリコン半導体検出器

- ・非接続型X線測定器の基本特性について

「X線 QA アナライザ」

演者：長田 一郎 (アクロバイオ株式会社)

- ・非接続型X線測定器の利用例 (一般撮影とCT)

「非接続型高機能X線測定器を用いた線量測定, 線質測定」

演者：赤石 泰一 (札幌医科大学)

- ・「非接続型X線測定器を用いたCT撮影における時間軸測定」

演者：山口 隆義 (JCHO 北海道病院)

②テルル化カドミウム系半導体検出器

- ・基本特性と臨床での利用例 (核医学等)

演者：菊池 明泰 (北海道科学大学)

医療情報セミナー

(医療情報専門委員会)

平成 26 年 11 月 19 日に施行された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 (改正薬事法)」は、医療機器の位置づけに変化をもたらしました。特に従来はハードウェアとセットで医療機器と定義されていた診断等に用いる単体プログラムが、医療機器として製造販売の承認・認証等の対象となりました。

今回の医療情報セミナーでは、法律改正のポイントと目的を理解して、今後の医療現場にどのような変化をもたらされるのかを、ユーザー、メーカーの両視点で解説します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 27 年 4 月 25 日(土曜日) 16:40~17:40

場 所：札幌医科大学 臨床第一講義室 2 階 (第二会場)

テーマ：「改正薬事法における医療機器・単体プログラムの取り扱いについて」

座 長：谷川 琢海 (旭川医科大学)

演 者：五十嵐昭人 (富士フィルムメディカル株式会社)

乳房画像セミナー

(乳房画像専門委員会)

昨年の春季セミナーでは超音波併用検診を introduction として、マンモグラフィの標準・追加撮影、画像評価について考えてみました。そこで、今回の春季セミナーでは、次のステップとして、“教わる側から教える側への一歩”と題して、皆さんとともに、各施設や地域でマンモグラフィを指導できる準備をしていきたいと思います。マンモグラフィや乳がん検診の普及の第 2 段階は各施設で指導者が増えること、そしてその指導者の皆さんが連携していくことにあります。ぜひ、セミナー前後を含めた情報交換に参加いただければ幸いです。

なお、セミナー会場と開催時間の都合上、いつものように各施設の画像を確認してコメントできない場合があるかもしれません。現在どうしても困っている画像や撮影技術等があれば、当日にお答えできるよう準備いたしますので、下記アドレスまでご連絡ください。

乳房画像専門委員会 堀田 “hbiconference@yahoo.co.jp”

日 時：平成 27 年 4 月 25 日(土) 16:40~17:40

場 所：札幌医科大学 臨床教育研究棟 講堂 (第一会場)

テーマ：「ステップアップ マンモグラフィ 2

～教わる側から教える側への一歩～」

座長及び演者：乳房画像専門委員会 委員

撮影された画像を評価していく中で、指導するべきポイントを参加者全員で考えていきます。